

# 老朽原発 うごかすな！

## ニュース 第20号

発行・老朽原発うごかすな！ 実行委員会

【連絡先】 090-1965-7102

### 美浜町議会で、老朽原発の「再稼働同意」をはね返す

10月13日に受理された「美浜発電所3号機の再稼働を求める請願」2件は、議会運営委員会で原子力発電所特別委員会に付託することが決まりました。その後の本会議で

も異議なく承認されました。「再稼働請願」は、1日会期の臨時会で強行採決される可能性があったため、県内外から多くの方が傍聴に来られ、傍聴席が埋まりました。議場に入れなかった人は、外で「強行採決するな！老朽原発再稼働反対！」と抗議行動をしていました。抗議の声は議運や全員協議会中の室内にも届いていました。

12月定例会への請願・陳情は署名捺印したものが11月20日頃までに受付を済ませれば受理されます。私は、臨時会の強行採決に備え、質疑や反対討論を用意していましたが、結局、議運以外で発言する機会はありませんでした。

老朽原発の再稼働にかかわる重要な判断なので、慎重な審査が求められていることは原発推進の立場の議員にも伝わったと思います。

私と松下議員は、原特委員会の委員ではないので、原特委員会で質疑ができません。残念ですが、日程が決まったら私も傍聴者として参加します。



町役場前に堂々の布陣

今後の原特委員会の請願審査や本会議での採決では、もっと多くの監視の目が集まると

また、臨時会本会議で請願

を原特委員会に付託しておきながら、委員会を開かず（何の審査もなく）継続審査にしたのはおかしいという声がありました。確かに間違いであったのかもしれませんが。しかし、当日に原特委員会を開いた場合は、委員会でも強行採決される可能性もありました。とにかく当日の臨時会では請願を審査することを避けたことはハッキリしています。

これは、抗議行動、議会傍聴などみなさんの抗議の声、

**議会の暴走を止めなければ！ 議外の抗議の声が届いた！**

美浜町議事に美浜原発3号機の再稼働を求める請願が出され、臨時議会で採決されると聞き、「原発自治体議員市民連盟からも誰か参加を！」との呼びかけに応じて参加した。美浜町役場前に到着すると、「傍聴席はあと数席しかない」と聞き、急いで役所に入り傍聴させてもらった。傍聴は20人に制限され、入れ

なかった方も同じと思う。マスコミは記者が10人、カメラが2台入っており、注目の高さがわかる。議会には請願が2件提出されていた。ともに「3号機の再稼働を求める」と同じタイトルで、美浜町経済の発展のために再稼働が必須であると訴え、その立場で議会が対応するよう求めている。1件は

監視の目があつたからです。原発反対！市民運動の勝利です。通常は、臨時会の議運で30分以上の時間がかかることはありません。強行採決の阻止に、私も議運の中で努力していたことは新聞報道で読み取れる部分がありますので、これからも原発をなくすために一緒に力を合わせてがんばりましょう。  
(美浜町議会議員 河本猛)



美浜町役場（正面）に向かって

のだ。これが当たり前の手続きである。良かった！でも何か拍子抜けした感じ。

河本猛美浜町議によると、外の抗議の声が全員協議会中の室内にも届いていたそう。マスコミの注目も集まっている。この状況で、推進派も「異例の対応をしてまで採決

を強行するのは目立ちすぎてヤバイ」と思ったのだろう。今後の特別委員会、本会議でも声を届け、議会の暴走を止めなければと思った。

（向日市議会議員・反原発自治体議員市民連盟関西 杉谷伸夫）

## 10月23日、高浜町役場前 緊急抗議行動・議会傍聴に

### 再稼働で潤うのは誰？

美浜区長会会長、美浜町商工振興会会長など地元団体の会長6名の連名で、まるで地元の総意のようにして議会に圧力をかけている。もう1件は福井県原子力平和利用協議会美浜支部長の請願だ。しかし誰も傍聴に来ているような雰囲気はなく、「熱意」は感じられない。

議会は13分遅れて始まった。議事が請願のところになると、議長が「請願2件については、原子力発電所特別委員会に付託し、閉会中審査する」と言った。一瞬、「ん？ どういうこと？」という空気が傍聴席に漂った。今日は採決しないということだ。後日特別委員会を開いて審議する

40年超えて超危険な老朽原発（美浜3号機・高浜1、2号機）を何とか再稼働させようと関西電力が画策するなか、「原発再稼働を求める請願」が美浜町議会、高浜町議会に相次いで提出されている。

いま、脱原発・反原発は圧倒的な民意で、ましてや老朽原発の危険性は誰しも認めるもの。これらの請願が住民の声を反映したものは到底思えない。既成事実を重ねカチを整え無理矢理再稼働しようとする魂胆が見え見えだ。こ

の動きを何とか止めたいと、19日の美浜町役場に続き、23日高浜町役場に滋賀から4人で駆けつけた。

### 超豪華な庁舎と設備

新築移転して数年しか経っていない高浜町役場はとても美しい。廊下は高級感のある寄木素材でピッカピカ、3階に議会の全員協議会室がある。議員14名に専用マイクがあり設備機器も最新仕様だ。女性議員は3人（うち1人は欠席だった）。傍聴枠は7人で、中野哲演さんと私。あとの5人はマスコミ関係者のようだった。

た。約1時間の全員協議会会議で原発がらみの話は10分ほどだった。

### 請願の扱いと これからの予定

請願について「過日、国から町長に『議会の意見をまとめてほしい』と依頼があった」「原子力対策特別委員会（1月6日午後1時半〜）で議論していただく。そして採決・不採決を決める」さらに、「来たる10月30日午後7時より町主催の意見交換会（住民説明会）を開催する。町議のオブザーバー参加を要



高浜町役場に抗議のアピール

請する」との議長の発言。多分、国から40年超え運転の安全性や必要性についての説明を一方的に受けることになると思われる。どれほどの住民が参加するのか私にはわからないが、形だけは住民に説明し理解を得たことにするのだろうか。31日には美浜町で住民説明会がある。老朽原発を再稼働させることは決して美浜町民や高浜町民だけの問題ではない。近畿1450万人の飲み水・琵琶湖を抱える私たちの問題であるし、日本の、いや世界の人びとの問題でもあるのだから。

（脱原発市民ウオークin 滋賀呼びかけ人・ふえみん 婦人民主クラブ共同代表 岡田啓子）

【付記】23日高浜町役場には、総勢、30人が結集しました。一部有志は前日から泊まり込みで冷たい雨の中早朝7時半から、役場前に駆け付けました。ほとんどの人がマイクを握り「老朽原発再稼働に同意しないで」「高浜町だけの問題ではない！」など、アピールしました。